

「進路のてびき」について

この「進路のてびき」には、高等部での進路の流れや進路の行事などに関する説明や、高等部卒業後の進路を考えるうえで参考となるような資料や地域の事業所についての資料が掲載されています。このてびきをもとに早期から地域の福祉事業所や障害者職業能力開発校などをたくさん見学して頂き、卒業後の生活のイメージをつくっていただければと考えています。

また、在校中の福祉サービスの利用に関する相談先や利用の方法、福祉サービスを利用するための障がい者手帳の申請に関すること、卒業後の手続きなどについても書かれています。早い時期から積極的に福祉サービスを利用し、卒業後の進路へつなげていただければと思います。

進路選択に向けて

① 本人の気持ち、希望を大切にする

「〇〇〇がしたい」「〇〇〇になりたい」という夢や希望を大切にしていく。

② 保護者の協力

就労・福祉サービス利用に関わらず通勤練習や送迎等、保護者の協力が不可欠です。事業所見学会、体験会、進路説明会等へ積極的に参加して、その情報を本人、保護者で共有し実習先、進路先を決定していくことが大切です。

③ 各関係機関(各市福祉事務所、就業・生活支援センター、相談支援事業所等)との連携

日中活動の場は卒業後になりますが、在学時にも放課後等デイ、短期入所（ショートステイ）、日中一時支援事業（日帰りショートステイ）、移動支援（ガイドヘルパー）等を利用するケースがあると思います。進路先の福祉事業所と同じ法人が運営を行っているケースも多いですので重要な情報を知ることができると思います。本人の状況を知って頂くにはとてもよい機会です。